

# 食支援のための「MOWLS 物流支援プロジェクト」始動

～ともに食支援に取り組む物流・食品企業様を募集開始～

全国食支援活動協力会（本社：東京都世田谷区、代表理事 石田 惇子）は物流事業者と共に、本年7月、北海道～沖縄まで全国に寄贈食品を届けることを目的に「MOWLS 物流支援プロジェクト」を発足しました。（立ち上げプロジェクトメンバー：物流事業者5社、食品メーカー1社、システム会社1社、分野専門家1名）  
当会は、物流業界との連携を強化することで、食糧支援における物流の課題を解決し、子どもから高齢者まですべての人の明るい未来へつながる食料支援の仕組みの構築に取り組んでいきます。

## MOWLS（ミールズ・オン・ホイールズ・ロジシステム）とは

2020年3月より始動。全国のこども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステムです。食支援を行う団体や自治体が食品寄贈が受けやすいよう、冷凍・冷蔵設備を含む保管スペースをもつ拠点を全国に整備し、運営をサポートするWEBシステムの開発、企業・行政への学習会を開催しています。



▶ 当会について：<http://www.mow.jp> ▶ MOWLSについて：<https://mow.jp/mow-ls/index.html>

## MOWLS の意義

### 子どもの貧困率の増加

現在、7人に1人といわれている子どもの貧困率、ひとり親家庭の貧困率の高さ、平均所得金額の減少など、子どもとその親世代の低栄養状態や貧困状態から、食支援ニーズが増えています。既存の制度では対応できないケースに対し、こども食堂などの食支援活動団体はいち早く食糧支援に取り組んできました。

### 「食」を通じた課題解決

当会はこうした活動団体の支援を行うことで、「食」がたつなく地域の居場所が持続可能なものとなり、社会課題解決につながることを目指しています。そのためには支援者からの食品寄贈が循環し、必要とする地域へ必要な食品が届く環境整備が必要です。

現在、全国に食品寄贈を届けるうえで物流（配送問題）と保管（保管機能の脆弱性）が課題になっています。「食」がたつなく地域の居場所づくりの環境整備に向け、全国の仲間を増やしながら取り組んでいます。



# プロジェクトをともに進める物流・食品企業様を募集

【プロジェクト開始】 2022. 7. 21 ~

【募集期間】 2022. 10. 1 ~ 2023. 10. 1

物流・ストックの課題を解決すべく、有志メンバーとプロジェクトを立ち上げ課題解決に向け、具体的な取り組みが始まりました。ともにプロジェクトを動かしてくださる物流事業者様・食品メーカー様を募集します。



## ご協力いただきたい支援

- ① 中核ロジ拠点の設置・運営
- ② ロジ・ハブ間の配送
- ③ 中核ロジ拠点の設置・運営と配送

## ご協力いただきたいパート



## 「中核ロジ拠点」の設置目的

- ・ ロジ間の移動を伴うハブ機能としての使用
  - \* 地域の企業様もエリア外の地域に寄贈が可能になります
- ・ 大量の食品寄贈（3温度帯）を受け止める拠点としての使用
- ・ 複数メーカーが協働で配送する拠点としての使用

## 中核ロジ拠点の設置・運営でお願いしたい内容

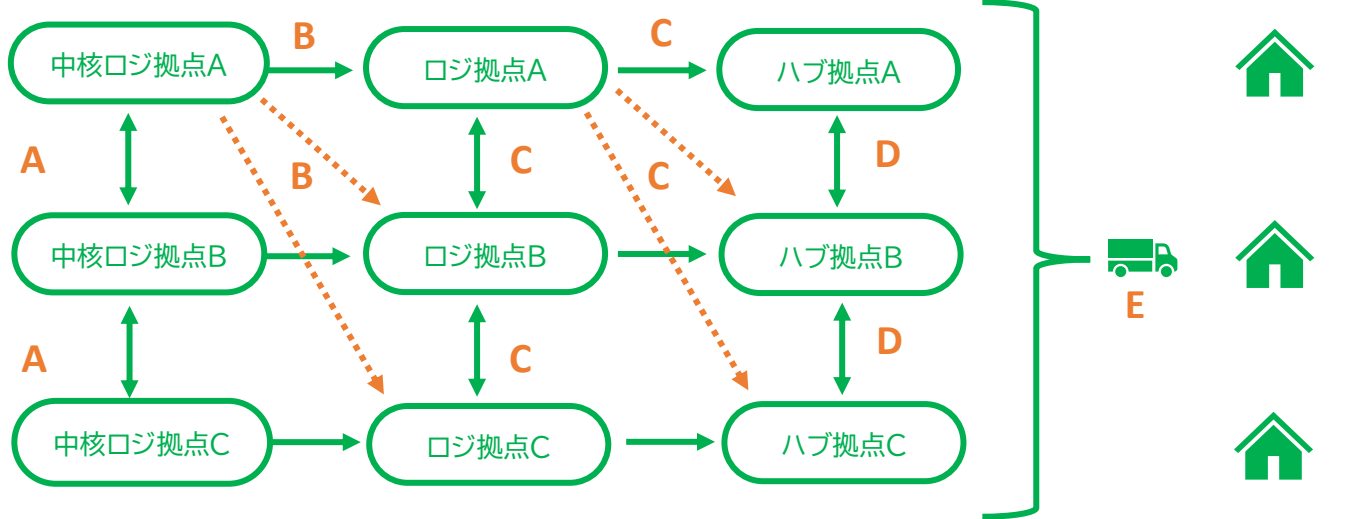
保管場所	5坪程度の場所の提～（常温／チルド／冷凍のいずれかのみでも可能です） *スペースは目安になります。状況に合わせて相談ベースとなります。
期間	1週間～2週間以内にロジ拠点へ出荷 *期間は目安になります。状況によって期間が変わります。
トラック	10トントラックの乗入れが可能
設備	フォークリフト（パレット降ろし）を前提とした積み下ろし環境
取り扱う商品	複数メーカーの商品（取扱いメーカー以外のものを含まず）
役務	荷受け及び仕分け・出荷作業 * 配送でご協力いただける場合、ロジ・ハブ拠点までの配送

## 配送の支援でお願いしたい内容

寄贈食品を末端の活動団体まで届けるために、A～Dの配送が必要となります  
皆様のご協力いただける範囲・タイミングでのご支援をお願い申し上げます。

- (A) 中核ロジ拠点～他中核ロジ拠点への配送      (B) 中核ロジ拠点～各都道府県のロジ拠点への配送  
(C) ロジ拠点～他ロジ拠点/ハブ拠点への配送      (D) ハブ拠点～他ハブ拠点への配送  
(E) ハブ拠点～活動団体への配送      ※配分・配送の依頼は当会で実施いたします

### 物流支援イメージ図



### 協働で行う シェアの仕組み

このプロジェクトはすべて無償ボランティアで成り立っています。  
活動を持続的に続けていくためにも多くの民間企業の皆さまと協働し、  
県域を越えて作業をシェアする仕組みです。

### プロジェクト参加メリット

- 社会貢献活動として       フードロスの削減     SDGsとしての取り組み     地域貢献     貧困解決 など
- 社員の意識改革として       社会貢献に取り組むことによる社員のモチベーション向上  
    仕事のやりがいや達成感 など

子どもから高齢者まで、すべての人の笑顔のため、想いを一つに参加くださる企業様をお待ち申し上げます。

### お問い合わせ

一般社団法人 全国食支援活動協力会      〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21  
TEL : 03-5426-2547    FAX : 03-5426-2548    URL : <http://www.mow.jp>    E-mail : [saposen@mow.jp](mailto:saposen@mow.jp)